

久留米市美術館 2024年度展覧会のご案内

[ちくご ist] 尾花成春

2024年4月20日(土)― 7月7日(日)

筑後ゆかりの作家を紹介する「ちくごist」シリーズの第一弾として、1950年代から前衛美術団体「九州派」で活躍した画家・^{おばなしげはる}尾花成春(1926-2016)を紹介します。九州派以後も、「筑後川シリーズ」など、地域での制作にこだわり続けた尾花成春。その90年の生涯と画業を紹介する初めての展覧会です。



尾花成春《黄色い風景》1958年 久留米市美術館

藍のものがたり

2024年7月20日(土)― 10月14日(月・祝)

古くから日本で親しまれ、さまざまな染織技法に用いられてきた藍染め。日本人の暮らしに息づいてきた「藍」の広がりを、久留米緋はじめ各地で継承されてきた伝統的な手わざの粋から、今日の作家やデザイナーによる挑戦まで、その多彩な魅力とともに紹介します。



松枝玉記《花菖蒲》1974年(公財)久留米緋技術保存会

日本が見たドニ | ドニの見た日本

2024年11月2日(土)― 2025年1月13日(月・祝)

ジャポニズムが絵画の流れを変えた19世紀末のフランスで、新時代の芸術の到来を高らかに予言したモーリス・ドニ(1870-1943)。続く20世紀には渡仏した留学生を教え、戦前から彼の作品が来日するなど、日本美術と双方向に影響を与え合ってきました。その出会いからずっと幸福であった、ドニと日本の関係を辿ります。



モーリス・ドニ《若い母》1919年 国立西洋美術館

響きあう絵画 宮城県美術館コレクション

2025年2月8日(土)― 5月11日(日)

リニューアルオープンに向けて改修工事中の宮城県美術館から代表的な絵画コレクションが丸ごと久留米へ。松本竣介や海老原喜之助、カンディンスキーなど必見のラインナップです。



松本竣介《画家の像》1941年 宮城県美術館

※都合により会期等変更になる場合がありますので予めご了承ください。

※入場料など詳細は久留米市美術館公式ホームページにて随時お知らせします。



久留米市美術館ホームページ

久留米市美術館では、外壁等改修工事のため下記期間は休館します。ご理解の程、お願い申し上げます。

休館期間 2階展示室：2024年1月29日(月)―4月中旬

※久留米市美術館1階ギャラリーの催事は改修工事期間中も開催されます。

※石橋正二郎記念館は通常通り開館いたします。